

障がい種	設置学部等					訪	寄
	幼	小	中	高	専		
視覚障がい	○	○	○				○

《校訓》
明るく 優しく たくましく

元気仲間輝け！六つの星！



《学校教育目標》

視覚障がい等による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識、技能、態度及び習慣を養う教育活動を創意工夫し、幼児児童生徒一人一人のもつ能力や可能性を最大限に伸ばし、自立し社会参加するための「生きる力」を育む。
・適切な役割分担を図り、“チーム学校”としての協働体制を構築する。
・評価と関連付け、組織的かつ計画的なカリキュラム・マネジメントを推進する。



《目指す学校像》

- 子どもが生き生きと学ぶ学校
- 教師の働きがいがある学校
- 視覚障がい教育校として信頼される学校

《目指す子ども像》

- あきらめずにチャレンジする子ども
- 自ら考え、行動する子ども
- 自分の思いを豊かに表現する子ども

《目指す教師像》

- チームの一員として協働する教師
- 自ら学び続け、専門性を高める教師
- 子どもや保護者に寄り添う教師

重点目標 と 具体的方策

I 「確かな学び」の育成

- ・学習の基礎基本の定着
- ・日常生活スキルの向上
- ・ICT機器の活用
- ・経験の拡充
- ・体力向上の取組

II 主体的に考え、行動し、表現できる子どもの育成

- ・自ら関わろうとする意欲の向上
- ・年齢や実態に応じた表現力の向上・社会との関わりの拡充

III 自立と社会参加を目指した指導の充実

- ・指導の連携や情報共有
- ・教科間の連携
- ・専門家や外部機関との連携
- ・授業や評価の改善

IV 視覚障がい教育の専門性向上とセンター的機能の充実

- ・障がいの理解と実態把握に基づく指導
- ・指導技術向上
- ・協働や人材育成の促進
- ・情報発信の工夫

V 安心・安全な環境づくり

- ・安心して学べる・働ける環境づくりの推進
- ・安全管理や危機への対応
- ・関係機関との連携

- ①読み・書き・計算等の基礎学力の定着を図る取組や読書活動の推進〈学部・教務〉
- ②教科等の目標を明確にした指導の実践〈学部・教務〉
- ③自立活動及び日常生活動作の指導の充実〈学部・舎〉
- ④子ども達の学びを深める教材・教具の工夫やICT機器の活用〈情報・支援・学部・舎〉
- ⑤チャレンジ活動(運動・学習)の設定「鍛ほめ福岡メソッド」〈学部〉

- ①発達の段階に応じた対人関係スキルの指導〈進路・学部・舎〉
- ②主体性を重視したグループ活動の工夫〈生徒・学部・舎〉
- ③学習や体験したことを言葉や文章等(サイン・行動・態度)で表現する機会の設定(ICT活用を含む)〈学部・生徒・舎〉
- ④交流及び共同学習の効果的な実施〈学部〉
- ⑤一人一人のよさや違いを認め合う集団づくりの推進(人権教育)〈研修・全職員〉

- ①全体計画に基づいたキャリア教育や食育、性に関する指導の充実〈保健・進路・学部・研修〉
- ②連携や情報共有のための効果的な会議の設定や工夫〈学部・舎〉
- ③指導の系統性や、カリキュラム・マネジメント推進のための個別の指導計画等の活用及び評価の改善〈教務・舎〉
- ④進学先や福祉施設等との連携による進路指導の充実及び情報発信〈進路・学部〉
- ⑤外部専門スタッフ等の活用・連携による指導力の向上〈研修・保健・舎〉

- ①課題やニーズに応じた計画的な研修の実施〈研修・保健・全職員〉
- ②ICTの活用スキル向上のための研修と教材・教具の整備〈教務・情報・支援・研修・学部〉
- ③ニーズに応じた教育相談や情報提供〈支援〉
- ④HPやインスタグラム等による本校や視覚障がい教育に関する情報発信〈情報・教務・支援・学部・舎〉
- ⑤OJT(OJLタイム等)の推進

- ①一人一人の障がいの状況等に応じた保護者・医療等との連携〈保健・学部・舎〉
- ②PTA及び奨学後援会との連携の充実〈教務・全職員〉
- ③危機管理マニュアル及び情報管理規定の定期的な改善と周知徹底〈生徒・情報・保健・舎・全職員〉
- ④スクールカウンセラー・スクールサポーターとの効果的な連携によるいじめや悩みを見逃さない環境づくり〈保健・生徒・学部・舎〉
- ⑤事務室との連携による安全に学べる環境整備と効果的な予算運用(事務・全職員)

校内体制の整備

- 分掌間の協働・連携 ○自己評価表の目標設定と管理〈全職員〉 ○職場環境整備・タイム・マネジメント〈全職員〉
- 「働き方改革」推進・業務内容等見直し〈働き方改革推進委員会〉 ○風通しのよい職場づくり〈管理職〉